

足羽川の利活用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	土木部	課名	河川課	課長名	岩崎 等	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
福井市中心部を貫流する足羽川で漕舟体験できる機会を設け、人と川の繋がりを広げ、福井県の活性化に寄与する。												
[事業内容]												
○毛矢の漕舟体験 幸橋が架けられるまで行われていた漕舟の渡しを再現する。												
【実施期間】 通常航行（4月～6月、8月、10月） 計20日間 夜間航行（4月、8月、10月） 計 5日間												
【実施場所】 足羽川 九十九橋上流舟着場												
○木製和舟の購入 漕舟体験を史実に基づき再現するため、和舟を購入する。												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	/	4,978	6,975	4,529	4,529	木製和舟購入のため、予算額を拡大			
2月現計予算額の推移		/	/	/								
決算額の推移		/	/	/								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	漕舟体験参加者数	(目標)	/	/	/	(1,000)	(1,400)	(1,800)	(2,000)	乗船体験者＋観客		
		実績	/	/	/	1,047						
活動指標	開催日数	(目標)	/	/	/	(20)	(20)	(20)	(20)	イベント実施日数		
		実績	/	/	/	13						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		福井県				
予算額	6,975				6,975	事業実施方法		直営、委託				
						補助率		—				

事業評価

事業名	足羽川の利活用促進事業	部局名	土木部	課名	河川課	課長名	岩崎 等	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>北陸新幹線の県内延伸、高規格道路の整備など高速交通体系が大きく進展し、平成30年に福井国体が開催されるなど交通人口の増が期待される中、人口減少や超高齢化等の進行に対応し、福井県全体の魅力を向上させ、次の時代に受け継ぐ新たなまちづくりが求められている。</p> <p>そのため、福井市中心部を貫流する足羽川で漕舟体験できる機会を設け、福井の歴史や交通手段の変化を知ってもらう取り組みを実施し、人と川の繋がりを広げ、福井県の活性化に寄与することを目的とする。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
主に足羽地区の住民				約63,000人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
7月～10月までの計23日間のうち、12日間実施。 12月10日に追加実施。 参加者数 1,047人		悪天候による開催中止を防ぐため、開催期間を4～6月、8月、10月に変更する。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	0
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

河川浚渫土砂の利活用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	土木部	課名	河川課	課長名	岩崎 等
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H28 年度
関連する県の計画等			政策 [日本一の安全・安心]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金			
[事業目的]											
河川浚渫土砂の処理・利活用の手法を検討し、浚渫土砂の利活用拡大によりコスト低減を図り、河川浚渫を促進します。											
[事業内容]											
○河川浚渫土砂の利活用を検討する産学官連携の有識者等による検討会の開催（351千円） <委員> 7名 <開催回数> 3回（H27とあわせ計6回） <内容> ①浚渫土砂の分別試験と利活用可能性の検証（560千円） ②検討会で提案された利活用方法の民間公募による設計検証（814千円）											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移	/	/	/	2,285	1,725						
2月現計予算額の推移	/	/	/	2,285							
決算額の推移	/	/	/								
[成果指標等の推移]											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	浚渫コストの縮減のため の手法提言数	(目標)	/	/	/	(3)					
活動指標	検討会開催回数	(目標)	/	/	/	(3)	(3)				
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県				
予算額	1,725				1,725	事業実施方法	直営、委託				
						補助率	-				

事業評価

事業名	河川浚渫土砂の利活用促進事業	部局名	土木部	課名	河川課	課長名	岩崎 等
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>浚渫土砂は、粘土や泥土が多く、木くずの混入もあるため、公共事業への流用など再利用されているのは、4割程度にとどまっている。また、再利用されない浚渫土砂については、処分に多額の費用を要することなどコスト面での課題もある。</p> <p>一方、浚渫土砂には、骨材として利用できる材料を含んでおり、資源として有効活用できれば、山砂利採取の代替となり環境負荷を軽減することも可能と考えられることから、浚渫土砂の処分にかかるコストの低減を図りつつ、利活用をさらに進めることが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況	<p><他府県の再利用状況></p> <p>石川県 : 工事間流用 (約3割)、最終処分 富山県 : 工事間流用 (約3割)、最終処分</p> <p>浚渫土砂に処理を加え利活用を図っている府県は北陸地方、近畿地方では見られない。</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<p><input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有</p> <p>事業名 建設発生土利用促進調査 (役割分担)</p> <p>関連事業では、建設発生土の発生・受入予定時期、数量などについて情報共有を行い、建設発生土の有効活用を図っているが、河川浚渫土砂は対象としていないため、関連事業との情報共有を行い連携強化を図る。</p>	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
10月、12月、3月に第一回～第三回の検討会を実施。事前調査として、浚渫土砂の土質等実態調査を実施した。		27年度の土質等実態調査の結果をもとに検討会で提案された利活用方法を検証する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△560
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	